Hokkaido Work × Vacation
～北海道型ワーケーション～
つながる。感じる。生まれる。

北海道型ワーケーション普及・展開事業

つながる。HUBest（ハーベスト）

～人と地域がつながる ベストな場所（ハブ）が 北海道にはある～

「つながる。ハーベスト」とは？

「新しい働き方」として注目されている**ワーケーション**。その魅力のひとつでもある、人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生みだすことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出すコンシェルジュをインタビュー形式で紹介します。

第七弾　釧路市

くしろフィス

相座（あいざ）　聖美（さとみ）さん

（株式会社うつくしろ　代表取締役）

「釧路だから出来ない」とか「都会に行かないとダメ」など、やれない理由ばかりでてくるので、それをとめたいと思ったのがきっかけです。今はPCとネットさえあれば、世界中どこでも、もちろん釧路でも仕事が出来るので。

また、私自身がシングルマザーでして、一人親になった時に働くことの難しさや厳しさを体感しているので、女性の起業支援もしています。

―利用者は常連の方が多いのでしょうか？

リピーターは結構多く、仕事や長期滞在で夏場だけ釧路にいる方も定期的に使ってくださいます。また、地元の方だと、デザイナーやカメラマン、キャリアコンサルタントなど、様々な職種の方に利用していただいてます。

彼らには、私の仕事でチラシ作成や写真撮影をお願いしたりと、一緒に仕事することも多くあります。一人だとできることは限られますが、色々な人たちがあつまっているので、大きな仕事を出来たり、新しい取組が生まれたりしています。

「くしろフィス」とは？

―コワーキングスペースとシェアオフィスの機能を持つ「くしろフィス」をつくったきっかけを教えてください。

ここは立ち上げて7年目ですが、その前、私は若者相談支援のスタッフをしていました。若い子と話をしていると、若い方が多いですね。何年か前にフリーランスの方が単身で来られたのですが、その方はお子さんが花粉症をお持ちで、花粉を避けられる場所を探していました。結果、釧路を気にいっていただき、次は家族を連れてワーケーションしたいと仰ってました。

―相座さんが考える、釧路の魅力を教えてください。

涼しい・花粉が少ないなど、本州にない強みが沢山あると感じていますし、釧路は地元の人同士がお互いの得意分野を知っているので、外からお客さんを「つなぐ」ことが得意です。つなぎあうことで、違う仕事が入ってきたりするんですよね。

また、ワーケーション等で外から来る方は、地域の仕事や立場を奪うのではなく、相乗効果で地域をよくする人達だと思っているので、そこを地域が理解してつながっていくことが必要ですね。

―これから釧路に来られる方に一言メッセージをお願いします！

今は距離も時間も関係なく、釧路でもどんな事もできると思います。私がここにいる限り、連絡いただければ力になれるので、相談していただきたいと思います。

是非一度お立ち寄りください！

「くしろ」の魅力

―相座さんは「ワーケーションコンシェルジュ」も務められていますが、ワーケーションに限らず地域内外の人同士のつなぎ役や、若者や女性の支援もやられているのですね。

そうですね。あとはキャリアコンサルタントとして、求職中の方の相談対応やセミナーの講師をしたり、起業したい方の支援をメインに活動しています。職場研修なんかもやっているんですよ。

ワーケーションで釧路に来られる方は、

釧路市中心部に位置し、コワーキング利用やセミナー開催の他、相座さんへの各種相談も可能

第八弾 長沼町

ながぬまホワイトベース
増田（ますだ） 健司（けんじ）さん
（合同会社マスケン　代表社員）

ながぬま ホワイトベースとは？

――ホワイトベースは平成31年3月にオープンされた、長沼町中心部に位置するコワーキングスペースですが、どんなコンセプトでつくられた施設なのか教えていただけますか？

立ち上げ時は新型コロナが流行する前だったこともあり、修学旅行でグリーンツーリズムを体験しに来る学校が多かったのですが、日中生徒が農家仕事を体験している間に、添乗員さんにこちらで働いてもらえればと考えていました。あと、空港も近いのでテレビクルーの人たちがここで編集作業をしたり、偶然ここで隣あった人同士が意気投合して、何か新しい取組、「長沼モデル」と呼べる様なものが生まれれば良いなと思い、ホワイトベースを設立しました。

――現在は、どの様な方の利用が多いのでしょうか？

今年度に関しては、長沼町で実施している「長沼町ワーケーション×チームビルディング創生事業 ※」を通じて利用される方が多いですね。例えば、夏には神戸から家族で事業に参加された方が、2ヶ月以上滞在されて、ここを仕事場にしていました。

あとは、町内の農家がここに集まって、定期的に研修会を行ったり、書道教室や家庭教師の場としての利用、また帰省した学生がここからリモート授業に参加するなんてこともあります。

※ホワイトベースでのテレワーク及びチームビルディング体験（個々人のスキルや能力・経験を最大限に発揮し、目標達成できるチームを作り上げていく取組）を通し、参加者に町の魅力をより深く実感してもらう事業。

ホワイトベースから「つながる」

――この場所から新たな取組が生まれた、といったエピソードがあれば教えてください。

具体的に何か生まれるという意味ではこれからです。例えば、私の町内の知り合いがよくここを訪れるので、その方を町外からの利用者にも紹介しています。もしかしたら今後何か起こるかもということは多いですね。

また、ここのシェアオフィスを利用して、観光関係や地域商材の販売を行う「Ｒｅｇｉｏｎａｌ Ｄｅｓｉｇｎ株式会社」が起業しました。同じくここを活動拠点とする元地域おこし協力隊の方が最近行政書士の資格を取ったので、色々と連携できる幅も広がっています。僕も元々農協の職員だったので、地域の農業関係者を紹介することも強みです。

――今後の話の流れでお伺いしますが、これからこのホワイトベースをどのような場所にしていきたいか、将来の展望があれば是非お聞かせください。

設立当初のコンセプトとは大きく変わらず、「長沼発の何か」をつくることに協力していただける人に来てもらいたいと考えています。

何か新たな取組が生まれれば、出世部屋というか、何かが誕生する場所ということで有名になるじゃないですか（笑）

――「スペシャルサンクス・ホワイトベース」という感じですね！

これからワーケーションでお越しになる方には、都会の喧噪を離れてリラックスしていただきながら、地元の農家さんなど町内の人とも仲良くなって、お互いに交流が生まれたら良いなと。

そしてワークはもちろんのこと、バケーションでも楽しみを共有して、地域になじんでいただければなと思います！

個室や打ち合わせに利用できるミーティングルームも完備したコワーキングスペース。貸切利用も可能

このインタビュー記事は、誌面の都合により抜粋版を掲載しています。

インタビュー全文については、北海道公式ＨＰにて公開していますので、是非ご覧ください。

インタビュー全文はHPをCheck!

該当する施設を月１回程度、HPでご紹介！

「つながる。ハーベスト」対象施設

○テレワークができる施設
○地域を知るコンシェルジュがいる施設
○誰もが気軽に利用できる施設
○地域住民も利用している施設

本記事の内容は、北海道総合政策部地域創生局地域政策課で担当しております。
○事業に関するお問い合わせ先　TEL：011-204-5089

令和4年12月発行
発行：北海道総合政策部地域創生局地域戦略課　電話（直通）：011-206-7298

北海道

参加無料

北海道とつながるカフェ

北海道とつながろう。

自分らしく働き、休日を楽しむ、北海道暮らしの魅力…
道内各地で活躍する移住の先輩や
北海道ゆかりの方々とリアルな話をしてみませんか？

『オンライン』と『対面』の両方でイベント開催！

※予定は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。詳しくは公式アカウントよりご確認ください。

STEP 1 北海道とつながるカフェ

北海道の魅力をテーマに、カフェを開催！各回のテーマに沿った北海道ゆかりのゲストや移住者の方が北海道暮らしのリアルや楽しみ方、つながり方をご紹介します！

7月 子育て × 教育環境
北海道ならではの地方と都市部の子育て環境についてご紹介します。

8月 自然 × サイクリング
北海道のサイクリング環境はどうなっているの？北海道の絶景とともにご紹介します。

10月 北海道食材 × 東京製菓専門学生
北海道の新鮮な食材を使って東京の学生がつくるレシピとは？食の魅力をお伝えします。

11月 自然素材 × コスメ
北海道の自然素材を使ってつくられる化粧品が続々。自然素材の魅力をお伝えします。

12月 子育て × ワーク
北海道の働く女性たちの今をご紹介！子育て世代の職業選択の広がりのきっかけをお伝えします。

1月 サウナ × ウィンタースポーツ
寒いだけじゃない！北海道の冬の楽しみ方、過ごし方をご紹介します。

STEP 2 もっと！つながる交流会

テーマは暮らしの必須アイテム！ゲストや参加者と意見交換しながら、さらに北海道暮らしが身近なものに…？もっと！北海道とつながりましょう！

11月 気になるお仕事
北海道といえば農家、酪農…それだけではありません。地域に根ざした様々な仕事について語りましょう！

1月 住まいのあれこれ
寒い冬もおうちの中はぽかぽか。北海道の住宅事情を大公開！住環境について語りましょう！

2月 北海道を体験しよう！
北海道といえば、美味しい食！農業の体験や、お試し移住体験について語りましょう！

北海道とつながるカフェの公式アカウントもご確認ください！

LINE　Facebook グループ

［お問合せ］北海道とつながるカフェ運営事務局　運営会社：株式会社インサイト　jimukyoku01@ppi.jp　Tel.011-233-2222（担当：中西・宣（せん））

北海道と首都圏の皆さまをつなぐ相談窓口やサイトにぜひご訪問ください。

東京交通会館8F北海道の移住相談窓口！
どさんこ交流テラス

道内市町村の魅力や北海道での暮らしの情報が満載！
北海道で暮らそう！

北海道の未来づくりを進めていく企業・団体・個人のネットワーク！
ほっかいどう応援団会議

北海道の地域創生をふるさと納税で応援してください！
北海道のふるさと納税

北海道 総合政策部 地域創生局地域政策課　hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp　Tel.011-204-5089

「創る」バックナンバーは、“ほっかいどう応援団会議ポータルサイト“へ

バックナンバーはこちらから！

ほっかいどう応援団会議　検索

ＵＲＬ：https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html